

般にいう不幸だというものを持つているものはそれ故に、悩みを多くし、社会と戦い強く生きようとして未だ不幸な者は仕事に過ぎず。肉体労働とは、健康な伸び伸びとした人間のする仕事であり、という。しかし私はそれは思わない。物を作る作業というものは、生きる者の生活である。体の不自由人も働かなくては生きていけない世の中なのだ。働く意志のある人には職を与え働く喜びと希望を持たせるのが社会の義務だと思えます。

私は知人の世話で東京のゴム会社に入ることができました。私は嬉しかつた。不安な人生から解放されたという感じと自分でわずかながら働いているという気持ちでほんとうに楽しい日々が続いた。しかし、そんな楽しい日々はなかつた。不器用でのろまて協調性のない私は、失敗したり、つめたくて手が思うように動かなかく仕事が進まない日、そんな時は知らず知らずのうちに泣けてしまふ。仕事がつらく、何度もやめたいと思つた。しかし、ここでやめてしまつたら、何をやつてもだめだ。父母に会わすかおがないと歯を食らしばつて、牛のように一歩一歩進んで行こうと考えなおし、毎日励んで来た。

一番最初の給料をもらつた時には、うれしさと満足感でいっぱいであつた。

わずかな金額であるが、自分一人、たれの手もかりないで働いたお金だ。生れて始めての感激とともに、今までがんばつたかいがあつたと思つた。

働く事のむずかしさ、苦しさ、かなしみ、またたのしみ等がわずかながらわかつたような気がする。私達は、不幸な者も幸福な人も、新しい世に存在するので大なる目的のためにこの世に存在するのです。生きるという事は、たゆまぬ長い人間完成への仕事です。決してだてやすいきょうで生活を営んではいけません。就職しなければ学べなかつたことそれをも多く学ぶことができました。それが私にとつてプラスになつたと信じています

不幸の中にとつてもつて
 ひらかなければならない
 幸福のとびらを自分の力で
 ひらかなければならない

××××××××××××××××××

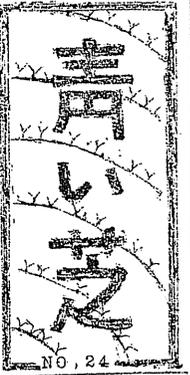
編集後記

慈善公演と実行運動を中心にして編集を進めましたが、実行運動方針の特別号を発行する予定なので、一部省略しました。

又原稿が多かつたので、来月発行しますので省略させて頂きました。だから御了承下さい。

出来るだけ原稿用紙に一行十八字詰に書いて下さい。

出来るだけ沢山御投稿下さる様御願します
 (中村)



37,8,20

発行所 大田区雪ヶ谷七五二 (山北方)
 印刷所 青い芝の会
 世田谷区祖師谷一ノ七三三 三誠社
 編集者 中村 敬一 (三三・九四〇九)
 責任者 中村 敬一

社会福祉団体に認可される

本会では去る五月に才二種社会福祉事業団体の認可申請をしたのが、この度受理され、七月十九日付けをもつて社会福祉事業法才四条才一項の規定により正式に認可された。

本会がこの社会福祉団体に認められるについては、聞くところによると、本会のような会を社会福祉事業団体として認可するのは初めてのことであり、いわばモデルケースだとのことである。

このように本会も五周年を間近にして一つの社会団体として公に認められることになつたのだが、これも本会の今までの五年間の実績があつたからであり、それには会員の皆さんや関係者の方々のご支援、会運営にたすさわつた役員諸者の華任の活動を大きく力あつたと思ふ。

以上の次が折角本会も公的の存在になつたのであるから、今後もつと会自体

をしつかりさせなければならぬし、また、会の運営活動には公の団体として今まで以上の責任と慎重さを持たなければならぬと思ふ。それには、今までのどちらかという好きな者同志が寄り集つたグループ的匂いの強かつたのを、改めなければいけない。そして、来たる五周年を本会の新たな才二の出発点として、新しい気がまを一つ一致団結、会の拡充発展とわれわれの福祉向上を目指して行くべきだろう。

役員総会開催について

前述の様に本会が社会福祉事業団体に認可されたに当り、今後の会のあり方その他について討議するため次記の如く、役員総会ともいへば可いものを開くことにしました。これには、本部役員、支部長はもろろんのこと支部役員、各委員会委

他の身障団体と

八月十日、国立身体障害者更生指導所において他の身障団体との横の連がりをとる会を開くことになつた。これは、本部役員会及び実行委員会の決定で開くことになつたものである。

この連絡会の主目的は、重度身障者対策の要求運動を共同して行なうという事であるが、たゞそれだけではない。いろいろな面を話し合い協調して行く事もある。いろいろな身障団体は夫々特質があるが、同じ問題も沢山あると思ふ。

横の連絡会開催

備考 当日欠席の人は欠席理由を明記の上、会長に委任状を出すこと (会長 山北厚)

日時 九月九日(日)午後一時より
 場所 世田谷塾
 (世田谷区世田谷二ノ二〇三四 伊藤先生方)

先の委員会報と同時に配布した、国立収容施設設立のための署名用紙は、なるたけ早く返送して下さい。

慈善公演を終えて

七月一日午後厚生年金会館ホールで
々重慶身障者収容施設々立資金募集のため
の題旨によつてコロンビアの援助によつて
本会主催慈善公演が行われた。そして、二階の
招待席のうしろの方が少し空いているので
あとがきつり満員という盛況裡にその幕を閉じた。

今回の慈善公演は始めて本会が主催したものであり、そこに大きな意義があつた。そしてそれが成功したことはまことに喜ばしく、又我々もやればこれだけのことは出来るのだという誇りと自信を与えてくれた。だが、その陰には多くの関係者各位の一方ならぬ御配慮御支援のあつたことを決して忘れることは出来ない。それは深く感謝申上げるところである。その点我々は喜ぶと共に謙虚であらねばならないと思う。ともかく、ベテラン、新進を含めて十数多の歌手その他の出演者をそろえたのは決して見劣りするものではない。そして、切符の売捌きや当日の会場の整理に際しては会員各位の御協力があつた。大いに力があつた。しかし、今回の活動については批判されるべき点も多々ありし、それらについては反省もされねばならぬ。

と思ひし、又我々の存在を多くの人に認めてもらえた。重慶者に対する施策が甚だ立進んでいる今日、我々の目的に向つてそれらをどう活かすか、これからの課題であらう。

十四日のようす

去る七月十四日に行われた「脳性小児マヒ者救済歌謡大会の状況」の原稿を依頼され早速ペンを持ちました。いざ書くとするとあの日の光景全体が私を感動させたことなのでどこから書き出してよいか迷う仕来りでした。たゞこの暑い時に体の不自由な方々がこれだけ盛大な事業をなしとげられたのもこの会に後援下さつた方々の御力添が容易なものではなかつたことを心打たれました。司会者の一言一言、出演者の一人一人の誠意ある態度にたゞ感服致し私如き者の微力でも何かの爲に協力する事があつたらと思いつつ又ステージに目をうつしますと若くしてこの世を去られた白土屋さんが作詩なさつたエリカを織井茂子さんが物静かに歌つておられました。胸が一杯になり目頭が熱くなり顔を上げることも出来ませんでした。家族の方々もこの日は終生忘れられない思い出となることでしょう。最後に島倉千代子さんが目に糊帯をされてこられました。目にけがをさ

れたにこの会だから特別に御許しを得て出演され「こんな姿ですが一生懸命歌いますから聞いて下さい」と申された。思いなしか歌声も淋しくきこえて来ましたが無事にこの会が終つた時、しばらく腰を上る事も出来ず茫然としておりました。周囲のさわめきで我にかえりなげ云う気力もなくステージに向い頭が下り家路につきました。

チャリティーショー結果と反省

支部長会議々長

石橋玲二

昭和三十七年四月「青い芝」にとつてはおそらく、ルネッサンスにも比すべき現象がおころうとしていた。一つは要球運動の展開であり、他はチャリティー・ショーの発行であつた。要求運動を援助するPRと、もしたとえ国家がいくらなくとも、収容施設は自分達の力だけでもどうしても作り上げるというデモストレーションのな意味も持つているとも思われ。以上が私のショー発行に対する判断であつた。

四月二十九日、臨時役員会におきて、消極的ながらショー開催の承認を得たその日からすぐに、具体的な内容の作製と産経ホールを始めるに、二十何ヶ所かのホールめぐりが開始された。一方では白土さんのレコードを発売するコロンビア

との折衝も連日しなければならなかつた。こうしたあわただしいうごきの中に五月三日役員会をむかえその席上、このショーの運営は議長の判断にまかせられることになつた。種々の事柄から、使える人数は、わずか四人という少い現状のまま、正式にショーを開催することになつた。こうして八十日間渡る馬車馬のような動きがはじまつた。

各所のホールがそれぞれ条件が折あわず、一時はショーを断念しなければならなかつたと思つた所幸い花田君の父上の御紹介で、コロンビアに対する援助と引換えに厚生年金会館が無料でおかり出来ることになつた。

コロンビアの方は大槻さんのお力でもあつて、本腰を入れていたとけることになり最初の予想とは思ひもつかない大規模なものになつて来つた。

とにかく初めにどういふことをやつてみて、ふなれなせもあつたらうが、あまりにも雑用の多きことに驚かされて、それぞれ動ける時間が限定されてゐる上、各会社、役所、新聞社等が時間できめられてしまつてゐるので、どうしても車にたよらねばならなかつた。もつとも後半は体力的にもそうしなければならなかつたのだが、日中バラバラに行動した四人が、一日に一回は集まることにした。(時々深夜になることもしばしばあつ

た。)その日に行動したことによる成果を築めけんとし、よく日の指令を出すのだつた。それは常に四人の団結と、きん張をうながすためにもこうかのだつたと思ふ。

一さいを我々の手でやり、無事に終了させることが出来た今、馴れた物になつた福祉団体へのいんかを最大の成果として、あの日会場に集つたのをせいに然と列をつくられた人々に対する感謝と、朝日の寺田さん、厚生省次官の大寄さん、横糸の大槻さん、白土さんの御家族を始めとする多くの方々心からのお礼を云わせていたとくと共に、もしまたこういふ機会が持てるとしたら多くの改善すべき問題(たとえば必要経費の縮小)を得た今後を暖かい目でみていたとどきたいと思ふ。

各新聞 週刊誌の反響

昭和三十七年五月十七日(木)

日刊スポーツ 談話室

六月十日(日) 富士新報(四段)

青い芝の会慈善公演開く、白土さんの作品も発表。

七月一日(日) 日刊スポーツ(七段)

「エリカ」の発売を機に身体障害者へ

愛の手々十四日に歌謡大会、歌手「コロンビア」無料出演で激励。

七月五日(木) 朝刊朝日新聞(四段) 脳性小児マヒ「青い芝の会」慈善公演の盛況、白土信江さん「遺作の詩」レコード吹込み、障害者の能力を世に訴へる。

七月十日(火) 朝刊朝日新聞(社告) 「脳性マヒ者救済歌謡大会」脳性小児マヒ者の援護資金をつくるため慈善公演「コロンビア・スターパレード」を催します。

とき・ところ十四日(土)午後一時から、新宿・厚生年金会館△出演歌手島倉千代子・神戸一郎・赤坂小梅他△舞踊(花柳京美美社中)楽団(コロンビア・オーケストラ オリジナル・クイーンテット) (いずれも華仕出演)△会員券(一五〇円)△朝日新聞東京本社朝日サービスで前売中。主催、脳性マヒ者の会「青い芝の会」後援、厚生文化事業団、厚生年金会館、朝日新聞厚生文化事業団。

七月十四日(土) 朝刊毎日新聞(七段) 世に出る女流詩人の遺作エリカ。身障者の友情に包まれレコード化きより披露。

七月十五日(日) 報知新聞
(廊下)

七月十五日(日) 東京中日新聞(五段)
両眼の痛みをこらえて歌う島倉千代子。
感動の脳性マヒ者救済、歌謡大会。

七月十五日(日) スポーツ日本(三段)
島倉、歌う姿も痛々し、脳性小児マ
ヒ者救済大会、出演、反省ほし、テ
イ投げ。

八月五日号(日) テスト版
週間ハイライト

レコードになる女流詩人の遺作。歌手
の友情に包まれたケエリカク

この内、週刊女性自身、茨城県各紙等が
あるが、資料がないのではふかせていた
だけ。
会計は十三頁へ。

役員会報告

五月二十七日(日) 於 世田谷塾

午後一時 午後五時

出席者 山北、金沢、和田、中村、石橋、
岡本、田村、沢井、柳下、篠崎、芝、
尾堀、岡本(石橋代理) 記録 中村

議長、岡本(石橋代理) 記録 中村
議題、一本部役員補充。二役員会規律

四 厚生省陳情運動予算 五 才二回
ミナーについて 五 議題を討議

一本部役員滝沢、浅見二人の辞任を受
理、新たに柳下、沢井両君の本部役員
就任を承認。

(本部会計については後に福祉団体化
の場合とにらみ併せて、討議の結果、
この際、現在の「青い芝の会」会計後
任者として(福祉団体の認可が有り次
才再検討する)柳下君に決定。
二役員会及び役員規程については、現
在、役員に対しての会員の批判も出て居
り、各役員に決定をお互いが反省し合
いの規律を阻すことなく、スムーズに会
全体を進めさせるよう、各自が自覚して
行動するよう話し会った。

三 今回の慈善公演「コロムビア・スター
パレード」の最終説明が石橋支部長会議長
によりなされ、役員内部には未だ批判的
発言も有つたが、この際、ここ迄交渉し
てくれた委員各位に役員会として全面協
力をすることを決定、会員券二千枚の売
捌きに全力を挙げることにし、中一千枚
を各支部責任とし、公演の成功を目指し
て努力することにした。

四 厚生省陳情運動の件について、篠崎(副
委員長)より事情説明が行われ「前回の陳
情では金村事務委員のあいまいな判断とし
ない態度では納付が行かぬ。今後、もつ

と具体的な話し合いの線に待つて行く為
陳情運動を続けて行きたいので、その予算
を組んで欲しい」との発言有り、これに
ついて討議、賛否両論(否定は経済的に
困難が伴うとの意見)が出されたが、結
局、責任として執行していくことに決
定、一先ず、一回分の予算一万三千円の
計上を承認。

五 才二回セミナーについては具体的な資料
が揃っていない為、各自が次期役員会
までに研究して行くことにした。

七月二十一日役員会

出席者

山北、沢井、金沢、小山、山
口、石橋、多田、芝、田村、
柳下、宇田川、中村、岡本、

1 チャリティショーの会計報告を石橋
氏が行なり。(詳しいことは別記)

2 チャリティショーの反省会、
今回のショーは会の全力をあげた
れもあつて大成功に終わった。私たちに
とつて良い経験であつた。陳情ととも
にPRの効果があつた。等々の意見
が述べられた。

3 実行委員会関係

会長より委員会の報告があり、セン
ターの同窓会など外部団体との連絡を
密にし、協力することが必要である。
そのために外部団体との連絡会議など

も考えられる。

横に手をつなげ

野崎浩一

青い芝(二)号で、身体障害者の問題を
政治に結びつけて採り上げたことはよい
ことである、これらは寧ろ遅い位でも
あるが、障害者の問題も政治に臨むなけ
れば幸せは望めないといふことに気がつ
いたことは一歩の前進である。

政治といふものは、自分達には遠いと
ころにあつて、別な世界のことのように
考え勝ちだが、実際には人間の生活はど
んなことでも政治から離れては居ないの
である。

昔は人間にも身分の差別があつて、
ひくい身分の者は政治に口出しも出来な
かつたが、近代は人間は平等で、自分の
考えを述べ、またその考えを自分の幸せ
にすることの出来る時代なのである、ど
んなことでも政治を離れては出来な
いし、また政治といふことを忘れては何事も望
めな

身体障害者の福祉施設などのように大
きなお金のかかる問題は尙更のことであ
る、現在のように個人的な篤志家の恩情

でだけの施設では救われる人は極めて少
数で、多くの障害者が野放しになつて居
るようではよい政治とは言われない。

この國家者に対し悪い政治を少しでも
良い政治にするのには、政府機関例をば
厚生省とか労働省や、国民の代表機関で
ある国会に、障害者の苦しみや悩みを選
べることである、これが自分達の考えを
政治に結びつけるということなのである。

ただこの場合、政治といふものは多勢
の国民の利益幸福を自当にするものであ
るから、少数の国民の希いが政治問題と
して採り上げられることは望みが掛ない
常識的に言へば政治とは一億国民中の六
千万人の利益と幸福になれば大体よいと
いうことになる。それなら残りの四千万
人は不幸でもよいのかといふことにもな
るが、それは決してよいといふ訳ではな
い、人間は一人一人考えが違つて居る
から全体が同じ考えといふ訳にはなかな
かゆえない、それで大体一人でも多く同じ
考えならその多い考え方をよいとして政
治してゆくより仕方がないといふ事であ
る。

この一人でも多くの幸福といふことは
多数決政治の原則論なのであるが、それ
より少数の不幸福を政治から見捨てても
よいのかと言へば、政治というものはそ
んな訳のものでも無いのである。たつた
一人の不幸福でも見逃してはいけな

うのが政治の理想である。

ところが実際問題としては、最大多数
の最大幸福といつた面に許り政治が向け
られ勝ちで、少数の不幸福はその不幸程度
がどんなに深く大きい場合でも、忘れ勝
ち、見逃され勝ち、見捨られ勝ちのこ
が多い、障害者の場合がその例である。

◎

障害者の不利益や不幸は他にくらべも
のにならないほど深く大きいのであるが
その数が一億国民の中で百五十万人程
度は、ない人数である、この少数が社会
からも政治からも忘れ勝ちにされて居る
訳だが、総人口の比率から見れば僅かな
数だが、百六十万人といふ障害者の実数
だけを見たら決して少ない数では無いの
である。

この多数の不幸福な障害者の問題が何
政治に採り上げられないのか、採り上げ
られたとしてもそれが何程申訳程度のも
のなのか、それは、障害者が政治に対し
無知なほど関心を持たず、従つて政治に
対する力が弱いからである。

その力の弱いことを実例を挙げて見る
と、最近障害者の団体が大小いくつ出
来て来た、これはたいてい結構なことだが
その結成の状態を見ると、耳の悪い障害
者は耳の障害者だけが集り、全盲の人達
は全盲の人達ばかりが結合し、青い芝の
場合も脳性小児マヒ障害者だけの結合で

一時間かやる事が二時間三時間とかかるのである。すなわち生産的職業はOP者にとつて不適當と云つても過言ではない。手の悪い人にどうして手の仕事を出来るのだらうか、訓練所や職業訓練所においてOP者に編物や洋服等の職業訓練を行つてゐるが不可解に思ふ。それはOP者にはどんな職業が適しているのだらうか、一般に云つてなにも無しと云つてもいいだらう。すなわち盲人には指圧師といつた職業がないと云う事だ。処がOP者でも出来る職業がある、手足もだめ口もだめと残された短髪は頭であり耳で目であるすなわち品を右から左へうつす事である生産された物を安く買い高く売る小売商である、しかし食品関係はだめで本屋とか文房具店雑貨屋等の定価がはつきりしている物でなければだめである。アパートタバコ屋等もよいだらう。OP者の障害は身体より気持の方が大である。もつと自信をもつて自分のあたえられた物を最大に活用する事だ。

二店(商売)をやるには:(資本と心得) それでは店を出すにはどれだけの資本とどんな心構えが必要だらうか、儲乗者にしてみよう。

アパート
よくOP者の親は家の子供にアパートでも立てて、と云うが又実際にそうしてゐる人が多いがはく大な資金と任人關係

とが大変な事である、三、四、五、六の室を十室として土地から建物を入れて最小二百万円はかかるだらう収入は月三、四万円位、住人關係や居住問題等の法律を心得とかなければならぬ。

三 タバコ屋
これもOP者によく考えられる商売だが資本が十五万円位家の玄関先でも出来るが法律で定められた他のタバコ屋との距離さえあれば特にならば優先的にやつてくれる同時に切手はつきりもやつたらいだらう回収一万二、三千位、六分の利息だ。

四 本屋(古本屋でも資本屋でもよい)
本屋は店を出さなくても出来る、会社学校病院等でセールのすべはいいのはいやこれをやれば店をやるのにいいの資本が少なくてすむ、五、六千円もあれば上、店を出せば百万円はかかるだらう。この他にいろいろあるだらうが、とにかく店を出す為には資本がかかるしちよつとやそこらではやれない。(次号につづく)

「ザル」売りの おじいさん
芝 隆

ちよつとその時、母がそれを聴くと同時に「体の不自由なザル売りのおじいさんだよ」と云つて玄關へでてゆきました。以前私は母からそのおじいさんが約十数年前より現在に至る永い期間脳性小児マヒの不自由な体でありながら風雪にも負けずに、行商のザル売りを黙々続けてゐることを聞かされてゐました。私はそのおじいさんをその時まで唯の一度も見たこともなく、唯頭の中でその姿を思い浮べ想像してはいたにすぎませんでした。

私は好奇心で聞けるような複雑な気持ちで母がおじいさんと話してゐる玄關へでてゆきました。そのおじいさんの恰好は、眼をそむけたくなるくらい痛々しいものでした。

おじいさんは背中の大小のザルを十幾つも背負られて、首は私と同じように安定を失なつて左右前後に揺れ廻り、口は話をするたびに大きく歪んで、言葉がとぎれとぎれになり大変苦しそうでした。左手がだらりと垂れて自由がきかず、ザルを持つときも二、三度と玄關のコンクリートの上へ落してしまわれました。

足は左足が内側に曲がり、絶えずけられんしてふるえて立つてゐるのが苦痛のようには思われませんでした。私は背中のザルで小柄で衰弱なおじいさんがつぶされそうを鈍角を起しそりになつてしましました。

内 三

私はその悲惨な姿を直視してゐるのがたまらなく淋しくなりました。私も同様な境遇であることが情けなくなるような気持ちになりました。

私はその反面気持の上である一種の親しみを感して、淋しさに包まれた心をくつと耐えておじいさんの言葉、動作をじつと見ていました。私はおじいさんの澄んだけがれのなきびしさを帯びた眼を見た瞬間はつと云つて、いままで心を充滿してゐた淋しさが消え、温かい血液が流れこんで体全体をすつぽりと包んでくれるような感じに心は変化してしまいました。おじいさんは母の質問に対しては、おじいさん自身が言語障害があることを自覚するかのよりに、ときれとぎれしながらはつきりとゆつくりと話をし、母にわかちせようと努力しておられることがわかりました。

おじいさんは「ザルが必要ならば買つて下さい、不必要ならばよいです」と云うような意味のことを云つて、けして喚願して押しつけがましい態度は取られませんでした。

おじいさんはその極めてなまぬかに同病してザルを買つてくれることを感涙に激らつてゐるようになつておられました。人の情けに甘えず一人で自分で生きてゐるというまじしさがたよつておられるよりでした。

心が動いたことを、本当に地かしく情けなくなり、まだ精神が未熟でできていないことがはつきりわかりました。

私にザルを買つてもらつたおじいさんは、何度も低く頭を下げていておじいさんを述べて帰つてゆかれました。

私は少しの間、おじいさんの素直な心の落ち着いた態度に感化されて、放心して茫然と立ちすくんでいました。次の瞬間、いきなり外へ飛び出していきました。路の真中に立つて、ザルを背負われたおじいさんの後姿をじつと見詰めて、心に「おじいさん！ありがたう。良くいまして生きていてくれましたね。これからも運者ですつと永生きして下さいね」と感かざるを得ませんでした。

路の一番隅の方をザルが右左に揺れて悪い足をはきするよりに歩いてゆかれるおじいさんの貧弱な後姿には言葉で云ひ表わすことのできな力強さが感じられました。現在に至るまで幾多の苦難を乗り越えて難業の片に社会の隅のあたらしい場所、その存在すら認められることなく黙々と不自由な体で軋打つて自分一人でたくましく生き抜いてこられたおじいさん、私はその存在は本當に尊いものだと思ひました。今日もきつとおじいさんは私の知らない所でザルを売つて黙々と歩いてゐると思われませんでした。障害の道はきつとたつた努力がたたりなく未熟で

おじいさんに敵べたら雲泥の差で恥しむのため赤面したくなりませんでした。私の前途にも、必ず険しい苦難な道が待つてゐるそれを耐え苦んで打破してこそ本當の生きる道であり、私に与えられた成すべく当然の使命だと痛感いたしました。私はおじいさんに逢つたことを幸せに思ひうれしくてなりません。将来に希望の灯がほかつかつと点つて明るく毎日を送ることができるようになりました。

御 寄 附 御 礼

- 左記の方々から御寄附をいただきました。厚く御礼申し上げます。(順不同)
- 野崎 治一郎 藤久保久子様
 - 田中 長治様 江幡知和子様
 - 池田 親様 長尾 敏子様
 - 竹内 幸蔵様 小館 静枝様
 - 宇田川哲男様 鈴木 葉子様
 - 田中 哲子様 富士見丘高校
 - 市川 環子様 生徒御一同様
 - 全国鉄働者 相原 勇様
 - 団体連合会様 長崎 その様
 - 野田徳太郎様
 - 若林 様
 - 宮崎 文雄様
 - 日黒保徳所長

尼ヶ崎市 谷口治道

今此藝的共同作業場について「青い色の会」で色々問題になっている。これは身体障害者で働く能力を持つて居る方にとつては最も関心を持つ問題の一つであると思つて居ます。しかしそれは職業の種がきまっています。しかもそれは職業の制約させて、僕にとつてはあまり希望とつたものが湧き上つてこない。しかし僕には共同作業場に対して一つの夢を持つて居ます。その夢というのが「特殊農業センター」といつた様なものを作る事です。しかし僕はこれはあくまで夢であるので実行させようとは思つて居ない。これを先に言つておきます。突然この様なことを言つて皆様はびっくりされるかもしれませんが一度僕の夢を語るに聞かせて下さつて、この特殊農業もあるなあと知つて下さる。「特殊農業センター」というのは、次の様なものです。我々身体障害者は一般の事業に入つて働くという事は、精神的肉体的に非常な負担がかかつて居ます。そこで僕は才一次産業に目を向けました。それは何の気兼ねもいらぬ動植物に対して働くことが出来るから、又その手先のきよさは無用であるからです。しかしそこには大きな問題が出てくる。何と言つても、才一次産業である

ので、力仕事が主となつてくるからだ。そこで又僕は考えた、なるべく重労働でなく、少しの程度の力があつても出来る様な仕事はないものか！そうして次の様なものが考へついた訳です。才一次産業である。これは花(キク、チュウリップなど)の栽培をする仕事ですが、温室を使用してシーズンはずれの花や南国の植物又正月に使う桜などを作る事です。才二次に温室やビニールハウスを使用して高級果実やシーズンはずれの野菜などを作る事。才三次に、むとりや食用パトを飼育して、卵、食肉を得ること(これは成功すれば利益が大きい。才四次に繁殖動物の飼育である。これは小鳥、金魚その他色々を飼うだけでなく、より品種を作り、それを増殖することです。才五次に特殊な動物の飼育である。これは医学の実験に使用するねずみ、うさぎ、モルモットなどを飼うことです。(少し学問的知識がいるようです。)又今話題のコレラを増殖して、色々の用途に使用すること。

自分自身で便利な道具を作る必要が出てくるわけである。又医薬などの化学薬品を使つたりする。要するに現在の近代科学を用いて少しでも障害の穴を埋めようという事です。何にも近代的なオートメーション工場にだけ立派な機械を使われなくとも、もしその機械の中で身体障害者の障害を少しでも穴うめしてくれれば、それが横にそれたようです。話を元にもどしますが、これらを一ヶ所に集めてセンターを作り、一つの商業的な企業として成り立させるのです。この様な計画には莫大な土地と千数億の温室とビニールハウスや飼育小屋が必要となり又大きな養魚場と研究所が必要となつてくる。しかし、つと大事を必要となつてくる。最初にする人の技術は誰から学びとるかという事です。又多くの問題点がありますが、これが僕が夢にする「特殊農業センター」です。皆様は「子供じみたおろかな夢は見ない方がよい」とおっしゃるでしょうがしかし僕にはこの夢が頭の中に昏んできると何かしら勇気が出てきます。そうして温室栽培とかにむとり食用パトの飼育などは我々が力を合せてやると企業的に成り立つて来るのではないかと思ふ。又この様な職業は近年日本の社会が落ちつきを取りもどつたのである。将来に大きな希望ももてるようである。又僕も将来出来るならばこの様な職業を持つたいと思つて居ます。

「ジャズバンドの解剖」

酒井健介(くるめ園)

抑々ジャズ・バンドとは何だらう。「音楽喫茶でジャズ・バンドが気持の良ロックンロールを奏つていた」なんてジャズのジャの字も知らない人が平気で云つており、ナンセンスの極みである。ジャズ・バンドとは其の曲目の如何を問はずダンス音楽を主体とするバンドではないのである。例えばタンゴ、ミロンガ等は中南米のアルゼンチン地方の音楽でホルテニア音楽と呼ばれ、ルンバ、コンガ、ガラチヤ、ソン、ボレロ、マンボチャヤチャ等はキューバにサンバ、バイオンはブラジルに各々源を発するラテンアメリカ音楽と呼ばれ、ヤンの楽隊でスタンダードを主役にした音楽はハワイアン音楽と云ふ具合に軽音楽を見渡すと、各々の分野に於て個性を持つた音楽が群がっている。それでは、ジャズバンドは何を奏するバンドなのだろうと疑問を持たれるだらう。

ジャズとはアメリカで誕生し其の源を黒人の宗教歌から発する音楽で最初はブルースの形で歌が用いられたがそれは次に楽器に置き換えられ、しかも一つのテーマを用いて即興的に演奏するのが特徴とされる様になつた。楽器はコルネット(後にトランペット)

クラリネット、トロンボーン、バンジョー(後にギター)ドラム等で、これに其の後、ピアノ、ベース等が加わり、クラリネットは更にサキソホーンの使用に迄発達したのである。

こうした楽器編成でブルース、又はこれに類するものを即興演奏で聴かせるられるバンドこそジャズバンドと云われるべきものである。そして此の時代のオーケストラの多くはバイオリンを主奏せしめるのが常で、進歩的なオーケストラはジャズ曲を取り入れて演奏した。

此の頃迄には黒人のジャズでも大いに進歩し、デューク・エリントとフレッチャー・ヘンダーソンとか云う様な黒人楽士はそれ迄は小人歌で譜面を用いず、話し合ひや合図で奏つていた演奏形式を脱して、ジャズの楽器を大編成にして一従つて簡単な申合せでは出来ないの譜面を用いてこれに編曲を施してよりダイナミックなジャズを演奏する事を試みるに至り、これが今日の大編成のジャズ・バンドの基礎を築いた。此の頃になると、バンドの中にいくつかのセクションに分れていて、これが有機的な働きをする様になり、例えば三人のサキソフオンは、サククスセクションを形成しトランペット二、トロンボーン一、は合してブラスセクションを形成、ピアノベース、ギター、ドラム各一が集つてリズムセクションを作る

と云つた具合に成つて来た。

クラリネット吹きのベニグッドマンはそれ迄専ら、デキシランド・ジャズ風な小人数のジャズを奏つていたが、黒人楽士フレッチャーヘンダーソンの編曲に引きされ、それ迄スイートなダンス音楽に押されて、景気の悪かつたジャズを一つ近代的に商業的に成り立つたジャズをやらなければならぬと云うので色々苦勞してジャズ・バンドを結成した。

それはヘンダーソンの構想を基としこれを大規模な華麗にしたもので、リズムセクションの他、サククスセクション(四一五)にブラスをトランペット三四、トロンボーン三二四と云う様に、二つのセクションに分けて、リズムを中心に、即興演奏を交えて、特記すべき事はジャズ本来の楽器を用い、げん楽器を用い、本当のジャズ曲を美しく近代的に奏する事に成功したのである。これが大変な成功を取め、此の様なジャズの形態をスイングと呼ぶ様になつた。

余り長くなつても如何だから、この辺にて打ち切り、又改めて機会を取らえて書き度く思つて居る。

